令和８年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　【松江市立 東出雲中学校 】

(1)学力調査結果から見られた傾向

教科		分析(成果○，課題●)	改善策(・)
国語	成果	○文法と言葉の意味を理解して活用することができる。 ○前後の文脈に合うような文を考えて、短く表現することができる。	・掌編小説やコラムなど、短い読み物を要約する機会と、自分の考えを述べる機会を授業等で設ける。
	課題	●情報を整理したり、必要な情報に注目して要約したりして、わかりやすく伝える力。 ●内容を理解した上で、自分の考えを述べる力。	
数学	成果	○証明に対しての記述はそれなりに挑戦している。	・式の意味や問題文を読み取る活動を丁寧に進める。 ・データ分析の読み取りや考察活動を充実させる。
	課題	●問題を正確に読み取り、数学的に説明することに課題がある。 ●説明や証明の無解答の割合が多い。 ●基本的数学用語の意味が理解できてないため、読み取りが不十分である。	
英語（成果または課題で話すことについて触れること）	成果	○案内図やウェブサイトから、必要な情報を読み取ることができる。 ○日常的な短い会話を聞いて、具体的な内容を聞き取ることができる。	・ペアワークなどを通し、既習の文法を使って即興で伝えるアウトプットの機会を増やす。 ・身近なテーマについて英文を書く場面を作り、既習の英語を使って短文を書く練習する。 ・要点や出来事の順番をメモしながら捉えるリスニング練習を取り入れる。
	課題	●自分の考えや理由をその場で組み立て、英語で「話す」「書く」ことが難しい。 ●長めの音声を聞き、全体の流れや要点を整理して聞くことが苦手である。	

(2)質問紙調査から見られた傾向

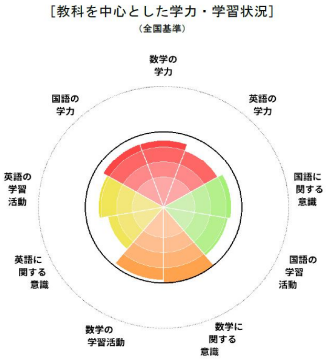
		分析(成果○：強み/伸ばしたい点，課題●：弱み)	改善策(・)
質問紙	成果	○学習時間が確保できている。 ○多様な意見を受け入れ、認め合うことができる。 ○いじめに対して正しく判断し、行動することができる。	・家庭と連携しSNS利用のルールを見直す。 ・学習方法や計画の立て方を生徒同士が互いに共有できる機会を設ける。 ・教科から課題や補習等を提示し、自分に合った方法を選択できるようにする。 ・先の学習や生活に対して見通しをもたせられるような学習支援を行う。
	課題	●SNSや動画視聴にかかる時間が長い。 ●自分で学び方を考え、工夫することが苦手と感じる生徒が多い。 ●学んだことを次の学習や生活に結びつけたり生かしたりできていない。	

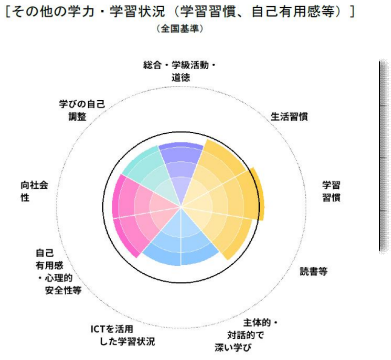
(3)その他、今後校内研究等学校全体で特に力を入れて取り組むこと

学校全体	以下の3点について、授業での機会を増やすよう、先生方にお願いしていく。 ・教師の説明を「聞く」から、生徒自ら「読む」に変える機会。 ・生徒が自分の考えを持ち、発言できる機会。発言は、わかったときだけでなく、わからないときにはわからなさや質問を発言する機会。 ・生徒が、自分の学び方に注目して改善していけるような機会。

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)

生徒数
142





【受検者数】

142 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

